

## あとがき

今回の調査は、ベトナムの環境関連のニーズの現状把握ということで行って参りました。私なりに概観して見ますと、

水処理関連は当面ニーズがありそうで、日本からも一部のメーカーが現地事務所を置くなどして活動している状況です。

一方廃棄物分野の現状は、埋立、コンポストが主流で焼却は小型炉主体で、大都市を対象にした大規模中間処理施設はこれからいうところでは。

但し、CDM絡みで計画が加速される可能性があるという感想です。

ベトナムの物価は、日本の約 1/10 で食事も日本人好みのものが多いなどいろんな意味で日本から熱い視線が向けられています。我々の滞在中もハノイ市内の活気には圧倒されました。

気になるのは、中国と同じ共産国という点ですが、一方では中国とは異なる道を歩むとの見方もあります。

いづれにしても今後ウォッチしてゆくべき国であることは間違いないと思いました。

同行された皆様と無事任務を果たし帰国できました。今後ともいろんな場面でのコンタクトがあると思いますがよろしくお願い致します。

最後に JICA の前田様、VAST の山本様、二松様、現地駐在の岩田様には、見学調整、適切なアドバイス等、公私に亘りお世話になりこの誌面を借りてお礼申し上げます。

調査団副団長 原田 裕昭